

## 横浜市新型コロナウイルス感染症対策 ～ 第6波に向けた対策について～

新型コロナウイルス感染症の“第6波”への備えとして、感染者を増やさないために3回目のワクチン接種の実施に向けた準備や、感染者の増加にも早期に対応できるように更なる医療提供体制の拡充を進めています。

横浜市は、市民の皆様の命と暮らしを守るべく、引き続き最優先課題である「新型コロナウイルス感染症対策」に全力で取り組みます。

### 1 新型コロナウイルスワクチン3回目接種（追加接種）＜11月25日現在の情報に基づく＞

#### (1) 接種対象者

2回目接種完了から原則8か月以上経過した、横浜市に住民登録のある18歳以上の方

#### (2) スケジュール

	令和3年 11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月	5月
接種時期		医療従事者等			2回目接種完了から原則8か月以上経過した方から順次（高齢者、18～64歳）		
個別通知（接種券等） 発送	● 11/22 発送済み（令和3年12月に接種可能となる方）	● 12/20 発送予定（令和4年1月に接種可能となる方）	2回目接種完了から原則8か月以上経過した方から毎週発送予定（令和4年2月以降に接種可能となる方）				

2回目接種完了から原則8か月以上経過した方から接種券等を同封した個別通知を順次発送します。発送から市民の皆様が届くまで数日程度要する見込みです。

個別通知（接種券等）発送数

11月22日発送分 約1.7万通

12月20日発送予定分 約7～8万通

#### (3) 高齢者施設での接種

高齢者施設においてクラスターが発生しており、第6波への対策が必要です。

今後のクラスター抑止のため、高齢者施設の入所者及び従事者については、早期に3回目接種を進められるよう検討しています。

(4) 接種場所

市内**医療機関**で接種が可能です。約 1,900 か所で接種ができるよう準備を進めています。接種回数は約 13 万回 / 週を想定しています。

また、**集団接種会場**も 9 ~ 13 か所程度設置する予定です。高齢者接種がピークを迎える令和 4 年 3 月以降に設置を予定しています（具体的な設置箇所や規模等は調整中）。接種回数は約 4 万回 / 週を想定しています。

(5) 予約について

接種は**事前予約制**です。

ア 予約方法

1・2 回目と同様に、市での予約受付と医療機関での予約受付を行います。市での予約受付は、市の予約専用ウェブサイトと予約センター（電話）の 2 つの方法です。3 回目接種の接種券が届いた方から予約可能です。

詳細は、広報よこはま、市ウェブサイトでお知らせするとともに、個別通知に同封する接種案内チラシをご覧ください。

イ 予約に関する改善点

接種希望者がスムーズに予約いただけるよう準備を進めています。

【改善点】

予約枠を探しやすくするため、いつでも簡単に接種場所と医療機関の空き情報をウェブ検索できるようにします。

【改善点】

予約をとりやすくするため、市で予約受付を行う予約枠を増やします。また、各区役所の相談員を増員し、代行予約を実施します。

3 回目接種に関する計画は、国の方針等に基づいたものです。今後国の方針等に変更があった場合には、適宜計画を見直していきます。  
今後、計画の検討状況は順次お知らせしていきます。  
今回お知らせした内容は、本市の需要に見合ったワクチン供給を受けることを前提とした計画です。ワクチン供給の状況により、変更となる可能性があります。  
3 回目接種の計画については、関連する予算の成立を前提としています。

## 2 ゲノム解析の体制整備

(1) 目的

国からの要請に基づき、新たな変異株の発生や変異株の発生動向の監視体制を強化することで、新たな変異株の早期把握による拡散防止のための取組強化や変異株のワクチン効力への影響の有無の確認に寄与します。

新たな変異株の発生や変異株の動向を監視するため、全ゲノム解析について、地域に偏りがないよう全国的に実施するよう要請。

(2) 実施方法

横浜市立大学と連携し、次世代シーケンサーを用いてウイルス検体の遺伝子の塩基配列解析を行います。

(3) 開始時期

令和 4 年 1 月から

関連する予算の成立を前提としています。

### 3 医療提供体制の強化

#### (1) コロナ専門病院の開設

令和3年12月1日、コロナ専門病院を開設し、自宅療養者（軽症・中等症）のうちBMI30以上などハイリスクな方を対象に、入院による専門的な早期治療（抗体カクテル療法、レムデシビルによる治療など）を行い、重症化を防ぎます。

施設名	横浜はじめ病院（所在地：神奈川区）
運営法人	特定医療法人財団 慈啓会
開院予定日	令和3年12月1日（水）
病床	確保病床数 60床（許可病床数 85床）
病院の位置づけ	神奈川モデル認定医療機関 申請中 （重点医療機関、及び重点医療機関協力病院）
対象患者・治療内容	自宅療養者（軽症・中等症）のうち、ハイリスクな方を対象に、入院による薬剤投与等、早期治療を行い、重症化を予防
医療従事者	24時間、医師、看護師等が常駐 （横浜市立大学からの派遣等）

#### (2) 陽性患者用病床数の拡充

第5波のピーク時から2割増となる826床の陽性患者用病床を確保します。

（単位：床）

	R3.9.1	R3.12.1	増減
陽性患者用病床	685	826	+141
うち、重症用病床	(99)	(101)	(+2)
中和抗体療法専用病床	-	30	+30
<b>小計</b>	685	856	+171
発熱等疑似症患者用病床	266	222	44
後方支援病床	183	184	+1
<b>合計</b>	1,134	1,262	+128

- ・コロナ専門病院（12/1開院予定）60床を含む
- ・県立病院の確保病床（合計95床）を除く

### 4 自宅療養者への支援

保健所の健康観察により、医師の診察が必要と判断された自宅療養者に対し、よりきめ細かに対応するため全市において訪問等による診療を行う仕組みを創設します。

関連する予算の成立を前提としています。

お問合せ先

【1について】

健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長 鳥丸 雅司 Tel 045-671-4841

【2について】

健康福祉局健康安全課健康危機管理担当課長 木野知 裕 Tel 045-671-2468

【3(1)について】

医療局医療政策課情報企画担当課長 新堀 大吾 Tel 045-671-4813

【3(2)について】

医療局医療政策課長 山本 憲司 Tel 045-671-2438

【4について】

健康福祉局健康安全課感染症対策強化担当課長 大津 豪 Tel 045-671-2468